

Romax Dynamic Fusion

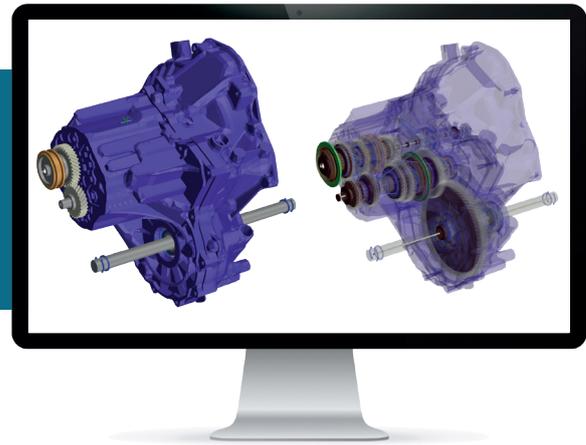
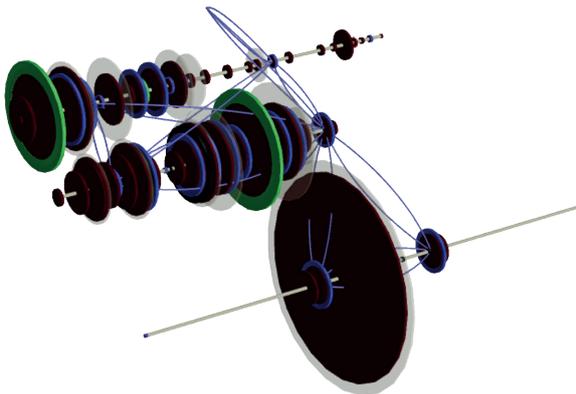
精度とシミュレーション速度の完璧なバランスをもつ最適化されたマルチボディモデルの自動生成ソフト

DynamicFusionはRomaxNexusモデルから最適化されたMBD（機構解析）モデルを自動的に生成します。それは、データ再入力を削減し、プロセス全体でCAEとMBDの統合を強化し、部門間のコラボレーションと効果的な作業を実現します。

モデルは迅速に生成され、必要に応じてできるだけ簡単かつ正確になるように最適化されます。このRightFirstTimeのアプローチは、高品質の製品をより速く、より低コストで提供するものです。

燃費の規制には、エンジンとトランスミッション両方の市場において多くの興味深い課題があります。このことはパワートレインへのシステムアプローチが理にかなっていることを意味します。”

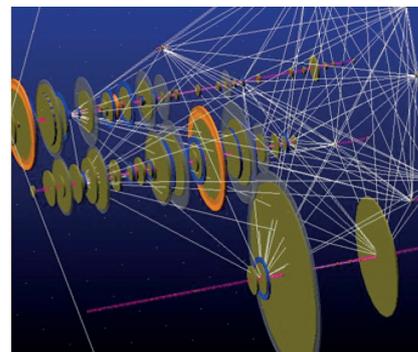
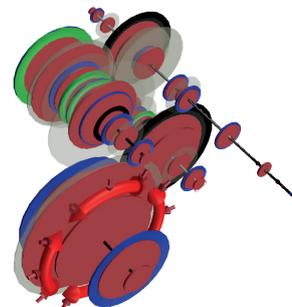
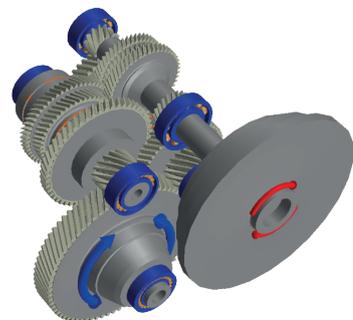
Gamma Technologies



利点

- CAEからダイレクトに - パラメータ入力で既に作成されたRomaxモデルから変換するため、新しいMBDモデルをすばやく生成、データの再入力を減らし、時間と労力を節約、エラーを最小限に抑えることが可能
- インテリジェントに最適化 - 精度と複雑さのバランスを適切に保ちながら、さまざまな解析タイプに合わせた複数のモデルが生成できるため、必要な結果を迅速に取得
- 開発を通して - 超高速で正確かつ使いやすいインターフェースにより、MBDを開発初期から組み込むことで、解析に割り振る時間とソフトウェアへの投資を最大化
- アプリケーション：
 - 車両システムシミュレーション
 - 運転性
 - 制御システム設計のためのプラントモデリング
 - 過渡的なドライブラインダイナミクス
 - ギヤ歯打ちシミュレーション

- MBDモデルの生成: 効率、NVH、および/または耐久性解析用にすでに構築されているRomaxモデルからMBDモデルを直接生成
- 適切な詳細への離散化: 簡単で自動化されたプロセスにより、弾性ボディを含めて解析対象とする故障モードを捉えるのに適したMBDモデルの複雑さと正確さの最適なバランスを実現
- オープンフォーマット: 離散化モデルはオープンフォーマットなので、他のプログラムへの独自のトランスレーターを作成可能
- 変換: MSC Adams、Modelica準拠のプログラム、またはGT-SUITEで、マルチボディ過渡ダイナミクス、非線形ダイナミクス、マルチフィジクスおよびシステムエンジニアリングに対応した解析モデルに変換
- 統合: CAEとMBD間のコラボレーションと効果的な作業を実現し、より効率的で再現性のあるプロセスに改善
- 問題を早期に発見: MBDをできるだけ早いタイミングで使用し、Romaxモデルに変更があった場合に素早くMBDへの影響を確認
- 使いやすさ: シンプルなインターフェースは、どの部署の方 (Romaxソフトウェアスペシャリストだけでなく) でも使用可能
- 品質の向上: インテリジェントな解析を早い段階で行うことで正しい設計判断が行え、より優れた設計が実現
- 時間の節約/エラーを削減: データの再入力におけるエラーのリスク最小化
- インテリジェントで効率的: 作成されたMBDモデルが解析ニーズに合っているため、適切な解析時間で必要な結果を取得
- 柔軟性: いつでも必要ときに詳細レベルを変更したMBDモデルを作成
- リソースを最大化: MBDモデル作成の必要がないため、MBD解析者 (およびMBDソフトウェア) は解析に専念することが可能



Hexagonは、センサー、ソフトウェア、自律型ソリューションのグローバルリーダーです。当社は産業、製造、インフラ基盤、セーフティ、モビリティの分野で効率、生産性、および品質を高めるためにデータを活用しています。

当社のテクノロジーは、都市エコシステムと生産エコシステムの繋がりと自律性を促進し、発展性のある持続可能な未来を創造します。

Hexagonのマニファクチャリングインテリジェンス部門に属するRomaxは、ギアボックス、ドライブトレイン、ベアリングの設計、解析、テスト、製造のための世界をリードするソリューションを提供しています。詳細についてはwww.romaxtech.comをご覧ください。Hexagonのマニファクチャリングインテリジェンス部門は、設計とエンジニアリング、生産、計測からのデータを利用して製造をよりスマートにするソリューションを提供しています。

Hexagon (Nasdaq ストックホルム: HEXA B) の詳細についてはhexagon.comをご覧ください。SNSアカウント@HexagonABをフォローしてください。